

令和元年度 鶴見・まちづくりゼミナール 実施レポート

● 第4講開催概要

開催日時：令和2年2月1日（土） 9：30～12：30

会場：鶴見区社会福祉協議会 2階会議室

テーマ：思いを形にするために必要なこと

コーディネーター：山路清貴氏（横浜市まちづくりコーディネーター）

出席者：受講生29名／区役所関係者5名 計34名（保育申込者：2名）

● 講座当日の様子

パネルディスカッション～活動を支援するしくみ～

& ワークショップ～わたしたちの活動プランを考る～

<パネラーのみなさん>

- ① 司会 横浜市まちづくりコーディネーター 山路清貴さん
- ② 寺尾地域ケアプラザ生活支援コーディネーター 長浜慎太郎さん
- ③ 鶴見区社会福祉協議会生活支援コーディネーター 飛田和樹さん
- ④ 鶴見区役所区政推進課 地域力推進担当 坂田係長



山路先生



飛田さん



長浜さん



坂田係長

<第4講で学んだこと>

今回紹介するのは、**プラン構築方法と活動支援**です。コーディネーター3人のお話を聞いた事を要約して書きます。

- ① 横浜市と鶴見区の支援ガイドブックには、地域活動に役立つ情報がある。地域ケアプラザや区社協では、打合せの場所や道具などを借りる事が出来る。区役所の地域力推進担当には、地域活動の継続・発展のために専門家の人材を派遣する制度がある。

※ 支援制度ガイドブック…横浜市や横浜市社会福祉協議会等が行っている地域活動の支援制度をまとめた冊子です（横浜市市民局地域活動推進課が発行）

② やりたい事とか興味があることがあったら、まず地域地区センター、社会福祉協議会、地域ケアプラザに相談をしてみるとよい。

③ 上手くいっている活動団体はとにかく人を巻き込むのが上手くて、小さい仕事を渡す（大きい仕事を細分化する）、係名を作らない、ゴリ押しをしないなどの工夫をしている。

↑ 良い情報ですね？

鶴見まちづくりゼミナールに参加することで、まちづくり活動に役立つ情報が聞けて、仲間も出来る（かもしれない）。

これを待っていたんだ！ってやる気に満ちている人、次はあなたの番です、お待ちしております。



● 受講生の感想（一部抜粋）

パネルディスカッションは、具体的に動くための知恵（コツ）をいただいた。ありがとうございました。人を巻き込む力が必要ですね。今やれることから、手段と目的を見考するというのが分かりました。後半はすでに活動されている方のお話が聞けて、勉強になりました。

支援する側の方々の事が分かり、特に社協（社会福祉協議会）は名前だけしか知らなかったのがよかったです。同じ支援を望むとき、まず最初にどこから相談すればよいのかが具体的になりました。

相談できる人、機関（ケアプラザ・社協さん・地域振興課さん）の存在を知るために私は1年以上かかりました。さらにそれぞれがどんな役割を持っているのかを知るのに1年以上かかりました。もっと早く分かっていたら、違う成果を出せていたかもしれないと思います。それゆえ、今日の講座は、とても意義深いと思います。今日パネラーさんのお話を聞き、新たな発見がありました。

● 編集後記（編集者：鎌田 淳（受講生））

鶴見まちづくりゼミナール講座4回目を受講して、私の感想は、皆さんの鶴見を今以上に良くしたいという考えと鶴見を盛り上げていきたいという考えにすごく感心しました、

鶴見区に2019年10月から住み始めて、この鶴見という街をもっと知りたいという理由で参加した私に情報を与えて頂いた事と仲間づくりが出来た事に感謝しております。